

2016年3月18日
電力広域的運営推進機関

スイッチング支援システムの利用状況について

スイッチング支援システムの3月11日までの利用状況について取りまとめましたので公表いたします。

＜スイッチング支援システムの利用状況（3月11日24時時点）＞
（単位：千件）

エリア	情報照会※1	スイッチング※2	再点他※3
北海道電力株式会社	6.7	7.8	0
東北電力株式会社	6.0	2.4	0
東京電力株式会社	115.5	49.7	0.0
中部電力株式会社	15.6	6.9	0
北陸電力株式会社	0.8	0.6	0
関西電力株式会社	76.5	32.0	0.0
中国電力株式会社	3.5	0.0	0
四国電力株式会社	2.0	1.0	0
九州電力株式会社	9.4	4.9	0
沖縄電力株式会社	0.0	0	0

※1「情報照会」は、設備情報照会と使用量情報照会の合計値です。

設備情報とは、現在の契約電力、自動検針の可否、次回の検針日等のことです。

使用量情報とは、需要者の過去13か月の電力使用量です。

※2「スイッチング」は、スイッチング開始申請の件数です。

※3「再点他」は、再点（内線設備工事を伴わない接続供給の開始）、廃止・撤去、アンペア変更、需要者情報変更の合計値です。

3月4日まで公表してきた「スイッチングの申し込み状況（2/26現在）」は、動静情報※4に基づいて算出した数字をスイッチング申込件数として取りまとめたものです。

これらの動静情報については、申込事業者により順次、スイッチング支援システムへの入力が行われ、本公表の「スイッチング」欄の数値に反映されていく予定です。

※4 動静情報とは、スマートメーターへの取替工事のため、平成28年4月1日以降に小売電気事業を営むことを予定している事業者が一般電気事業者の送配電部門に任意に提供したスイッチングの事前受付に関する情報をいいます。

以上